

6-1 1/6時の指導計画

(1) 目標

文章を読んで感想をもち、交流して考えを広げようとしている。

(2) 展開 ※ 表中のゴシック体で書かれた学習活動は、本時における評価の場面を表す。

	学習活動	教材資料	○指導上の留意点 ◆ I C T 活用の場面	評価規準と評価方法 ◇形成的評価による個別指導 Cの状況の生徒への手立て
導入	<p>1 教材「少年の日の思い出」の作者や訳者、他の有名な著書等を知り、「少年の日の思い出」が翻訳小説であることを確かめる。</p> <p>2 物語や小説を読んだ経験を振り返り、小説を読むことの意義を考える。 例) ・登場人物の人生を味わうことができて面白い。 ・悩みを解決したり、勇気をもらったりする。 ・人間とは何かについて考えることができる。</p>		<p>◆ヘルマン・ヘッセの写真や、「車輪の下」「デミアン」などの有名な著作の写真などを電子黒板で投影し、教材に対する関心を高める。</p> <p>○ヘルマン・ヘッセがノーベル文学賞を受賞していることに触れ、文学や小説の価値やそれを読むことの意義について伝え、学習への意欲を高める。</p>	
展開	<p>3 感想をもつこと及び見方や考え方を広げることについての自分の能力を確認するために、モデル学習に取り組む。 〔手順〕</p> <p>1) 既習教材「さんちき」を用いてA～Dまでの感想を読み、それぞれの感想の違いについて考える。</p> <p>2) 1～4の解説を読み、それぞれがどの感想についてのものか考え、感想のどちらと考への広げ方のポイントを考える。</p> <p>3) グループで交流して確かめる。</p>	ワークシート①	<p>○既習教材を用いて、どのようにして感想をもち、どのようにして見方や考え方を広げたかを想起させる。</p> <p>◆ワークシート①を教材提示装置で投影して、内容を確認しながら、大切な言葉にマーキングをするなどして、何をするのか理解を確かにさせる。</p> <p>○時間を決めて学習に取り組ませる。(例 個人5分→グループ5分)</p> <p>○理由を明らかにして答え合わせをさせる。</p>	<p>【関①】文章を読んで感想をもち、交流して考えを広げようとしている。 【観察】 【ワークシート①】 【学習計画表】</p> <p>「さんちき」についての感想とその解説を読んで、感想をもつことと深めるポイントについて理解を深めようとしている状況を「おおむね満足できる」状況(B)と判断する。</p> <p>感想とその解説に共通する言葉にマーキングをさせ、ポイントとつなげて読ませて理解を促す。</p>

展開	<p>4 学習課題「小説に書かれていらない場面を想像して考えを交流し、描写に注意して読む力を付けたり、自分のものの見方や考え方を広くしたりしよう」を設定する。</p> <p>5 単元の計画を知り、学習の見通しをもつ。</p> <p>6 書かれていることを根拠にして書かれていらない場面を想像し、考えを交流するために、場面の展開や登場人物の描写、及び情景描写に気を付けて全文を通読する。</p>	<p>学習計画表</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○モデル学習での取り組みと関連させて、学習課題につなげさせる。 ○感想交流を通して描写に注意して読む力を身に付けたり、自分のものの見方や考え方を広くしたりすることを確認する。 ○小説に書かれていらない場面を想像するには、描写に注意して読み、書かれていることを根拠にして想像することが大切であることを理解させる。 <ul style="list-style-type: none"> ○学習計画表を用いて、単元の学習活動を確認させ、学習の見通しをもたせる。 	
	<p>6 書かれていることを根拠にして書かれていらない場面を想像し、考えを交流するために、場面の展開や登場人物の描写、及び情景描写に気を付けて全文を通読する。</p>	<p>ワークシート② 本文ワークシート <Ⅰ> <Ⅱ> <Ⅲ></p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えをもって交流することを見通して、本文を読むように促す。 ○ワークシート②を手掛かりに、情景描写や心情描写にマーキングをさせる。 	<p>◇マーキングが滞っている生徒には、ワークシート②を対照して1～2カ所マーキングをして見せ、活動を促す。</p>
まとめ	<p>7 学習計画表の「評価」の欄に学習活動をA・B・Cの3段階で自己評価して書く。また、「振り返り」の欄に「学んだこと・参考になったこと」を文章で書く。</p> <p>8 次時の「目標」を確かめ、見通しをもつ。</p>	学習計画表	<ul style="list-style-type: none"> ○目標に応じて学習内容がどうであったか考えて振り返るよう促す。 ○板書を参考にして学んだことを書かせる。また、グループや学級での参考になった発言などを書くように促す。 ○次時は情景描写の効果について考えることを確認する。 	